

2024年7月12日

SAAJ NEWS RELEASE

公開草案「企業結合—開示、のれん及び減損」について 意見書を提出

公益社団法人 日本証券アナリスト協会（会長：小池 広靖 野村アセットマネジメント CEO 兼代表取締役社長）は、国際会計基準審議会（IASB）が2024年3月14日に公表した公開草案「企業結合—開示、のれん及び減損」（以下、本公開草案）について、2024年7月12日に意見書を提出しました。

【意見書のポイント】

- 我々は、依然として、のれんの償却の再導入が最善の策だと考えている。とはいえ、減損のみのモデルが維持されたことを踏まえると、IASBが、too late 問題に対応するための次善の策として、本公開草案で企業結合に係る開示要求の改善を提案したことを評価したい。それは、開示要求の改善が、企業結合に係る企業のガバナンスや利用者への情報提供を強化することを通じて、too late 問題に完全ではないものの効果的に対処し得ると考えるからである。
- しかし、質問4の開示すべき情報の識別について、本公開草案の提案では、取得年度後3期目以降であれば、企業結合の主要目的及び関連する目標を変更したとすることで、企業結合の業績に関する情報を恣意的に開示しないような余地があり、これによって開示要求の改善が実質的に骨抜きにされるのではないかという懸念がある。したがって、我々は、主要目的及び関連する目標の変更の有無にかかわらず、シナジーの存続期間については事後の業績の開示を要求するなどの代案を提示している。
- また、それ以外の本公開草案の提案についても、利用者の観点からいくつかの改善提案を示している。

【添付資料1】 *Re: Exposure Draft “Business Combinations—Disclosures, Goodwill and Impairment”*

【添付資料2】 公開草案「企業結合—開示、のれん及び減損」について

本件に関するお問い合わせは下記まで

SAAJ 公益社団法人
日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1200

担当：企業会計第2部長 土谷 敬